

トランスレーショナルリサーチワークショップ

がんの多様性と複雑性をもたらす  
がん幹細胞、微小環境、ゲノム変異の統合的理解と  
革新的がん治療のパラダイム創出を目指して

2016年1月15日[金] 9:00-17:10

都市センターホテル コスモスホール I

千代田区平河町2-4-1

実行委員長: 佐谷 秀行  
実行委員: 青沼 正志  
          大谷 直子  
          大家 基嗣  
          近藤 科江  
          清宮 啓之  
          旦 慎吾

参加費  
会 員  
1,000円  
非会 員  
3,000円

事前登録制 <http://jamttc.umin.jp/からお申し込みください>  
※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

9:00-9:10 開会の挨拶  
日本がん分子標的治療学会理事長 長田 裕之 (理化学研究所環境資源科学研究センター)  
第11回TRワークショップ実行委員長 佐谷 秀行 (慶應義塾大学医学部)

9:10-10:40 ワークショップ 1 「がん幹細胞とがん組織の不均一性」  
座 長: 田中 真二 (東京医科歯科大学)・石川 文彦 (理化学研究所)  
① 癌幹細胞において活性化されるCD44v-xCTを介した抗酸化システムを標的とする癌治療戦略 永野 修 (慶應義塾大学医学部)  
② ヒトES細胞を用いた新規脳腫瘍モデルの構築 船戸 洸佑 (米国Memorial Sloan-Kettering Cancer Center)  
③ 炎症関連大腸がんにおけるがん幹細胞形質獲得機構 土屋輝一郎 (東京医科歯科大学医学部附属病院)

10:45-11:45 ワークショップ 2 「がん微小環境が生む多様性」  
座 長: 近藤 科江 (東京工業大学)・落合 淳志 (国立がん研究センター)  
① がん微小環境におけるエネルギー産生と治療開発へのインパクト 江角 浩安 (東京理科大学生命医科学研究所)  
② 慢性炎症反応による発がん・進展促進機構 大島 正伸 (金沢大学がん進展制御研究所)

12:00-12:40 ランチョンセミナー  
座 長: 大家 基嗣 (慶應義塾大学)  
演 者: 末松 誠 (日本医療研究開発機構)  
「複雑化するがんの生物学とそれに基づく治療開発に対する政府の考え方、国際的な趨勢」

12:50-13:50 ワークショップ 3 「ゲノム・エピゲノム解析」  
座 長: 清宮 啓之 (がん研究会)・吉田 稔 (理化学研究所)  
① 治療誘導性のがん細胞進化 武笠 晃丈 (東京大学医学部)  
② エピゲノム創薬標的探索 油谷 浩幸 (東京大学先端科学技術研究センター)

13:55-15:25 ワークショップ 4 「がんの可視化技術 — 生体イメージング —」  
座 長: 大谷 直子 (東京理科大学)・浦野 泰照 (東京大学)  
① 生きたマウスで細胞増殖シグナルをリアルタイムに可視化する技術 松田 道行 (京都大学大学院医学研究科)  
② 蛍光プローブの精密開発による術中病変部位迅速可視化の実現 浦野 泰照 (東京大学大学院薬学系研究科)  
③ Indocyanine greenとchymotrypsin probeを用いた術中蛍光イメージングの臨床応用 石沢 武彰 (がん研究会有明病院)

15:25-15:40 コーヒーブレイク

15:40-17:10 ワークショップ 5 「がんの複雑性による治療抵抗性とその克服戦略」  
座 長: 青沼 正志 (第一三共株式会社)・旦 慎吾 (がん研究会)  
① 細胞周期から見たがん幹細胞の治療抵抗性のメカニズム 中山 敬一 (九州大学生体防御医学研究所)  
② 急性骨髄性白血病における幹細胞の制御機構と治療戦略 北林 一生 (国立がん研究センター研究所)  
③ 前立腺癌のがん幹細胞性遺伝子ネットワークを標的とした薬剤耐性克服を目指す新規治療戦略 小坂 威雄 (慶應義塾大学医学部)

17:10 閉会の挨拶  
第11回TRワークショップ実行委員長 佐谷 秀行